

# 防犯民主主義と 公正としての正義

安全・自由・公正を両立するJEASの意思決定原則

本資料は、『防犯民主主義』をJEASの  
今後の意思決定原則として整理するためのたたき台です。



# 防犯技術は、 社会の安全と自由のあいだに立っている



防犯技術は、万引防止・  
犯罪抑止・店舗運営の  
安定に貢献する。



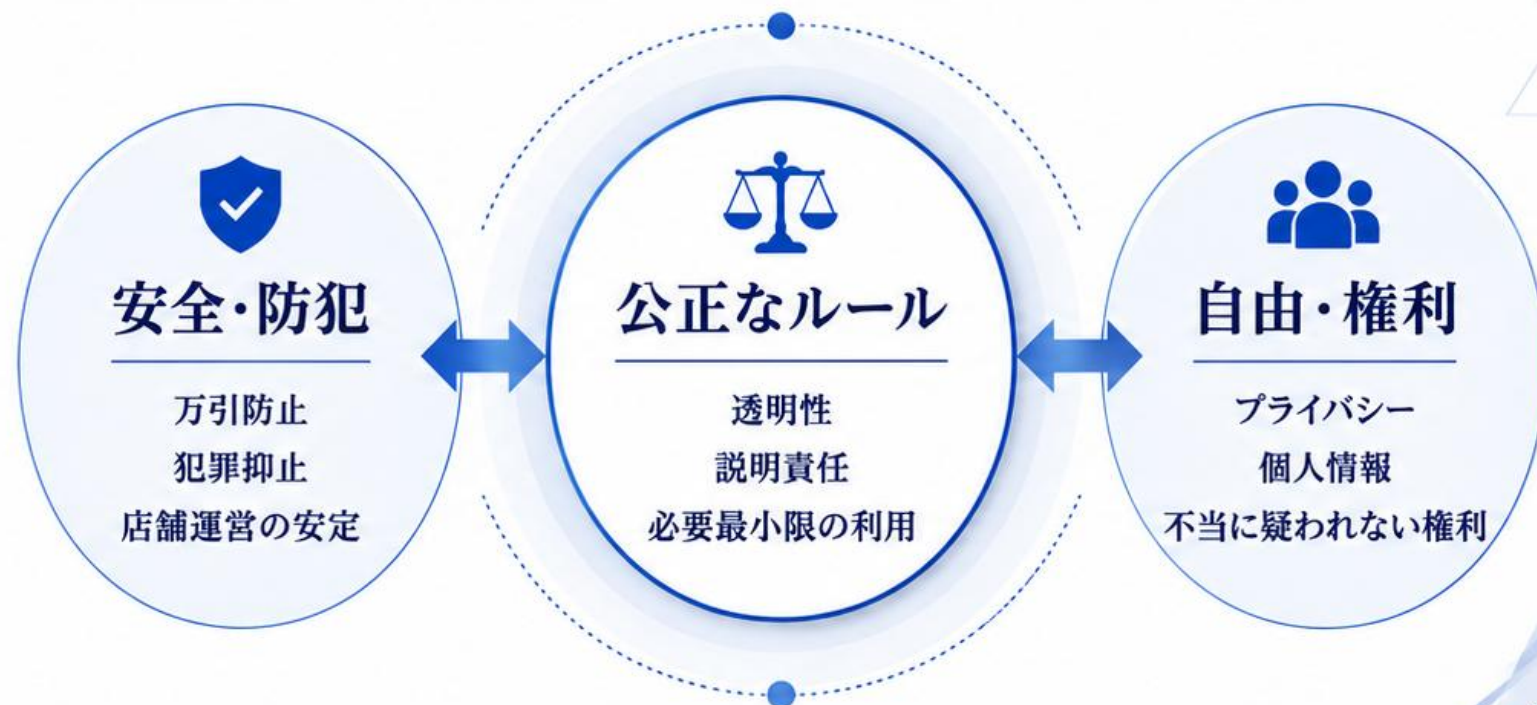
一方で、プライバシー・  
個人情報・人権への配慮が  
欠かせない。



問いは『防犯か、自由か』  
ではなく、



『安全を高めながら、  
自由と権利をどう守るか』  
である。



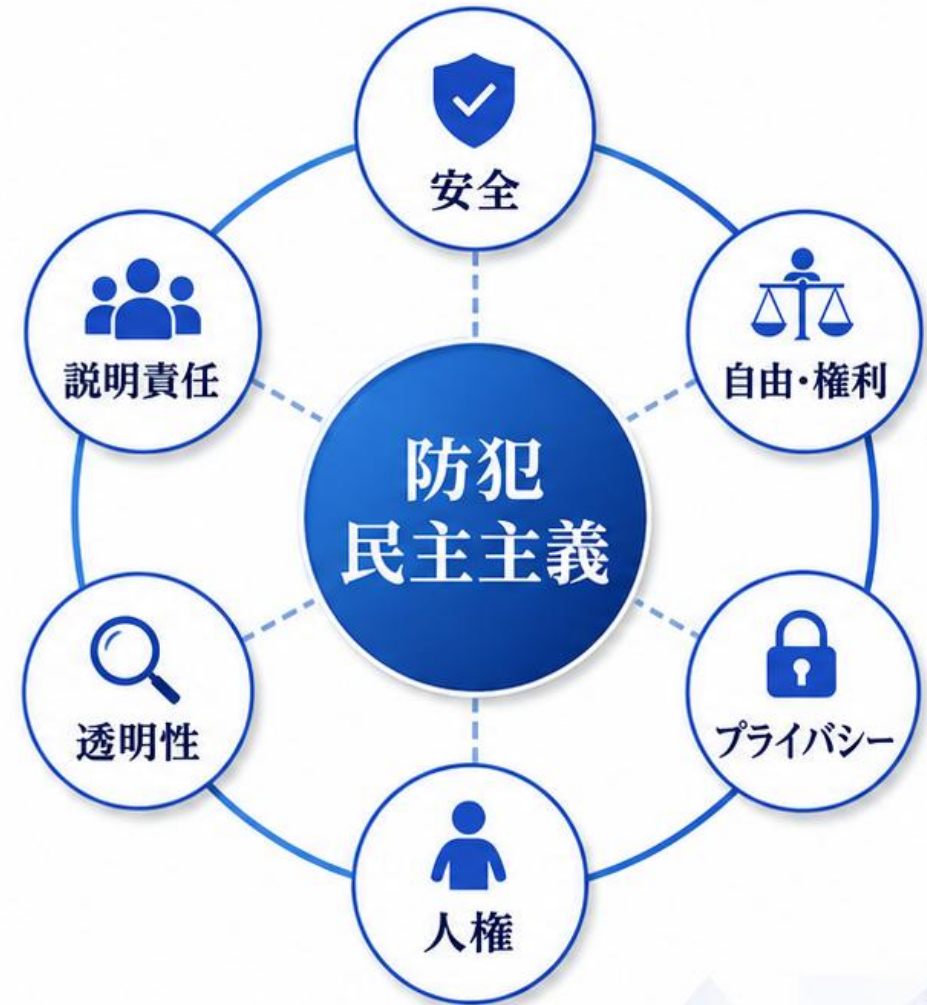
技術の力を、社会の信頼と公正のもとで活かす。

# 防犯民主主義とは、 自由と権利を守りながら 防犯を実現する考え方

本資料では、防犯民主主義を次のように整理する。

安全・防犯と、  
自由・権利・プライバシー・人権・社会的公正を  
両立させる考え方。

防犯技術を正当化する言葉ではなく、  
社会から信頼される防犯を実現するための言葉である。



# 公正としての正義は、 防犯民主主義を考える補助線になる

ロールズの『公正としての正義』は、  
防犯民主主義を考える  
補助線になる。  
見るべき視点は3つ。

1



基本的自由を  
守る

2



公正な機会を  
確保する

3



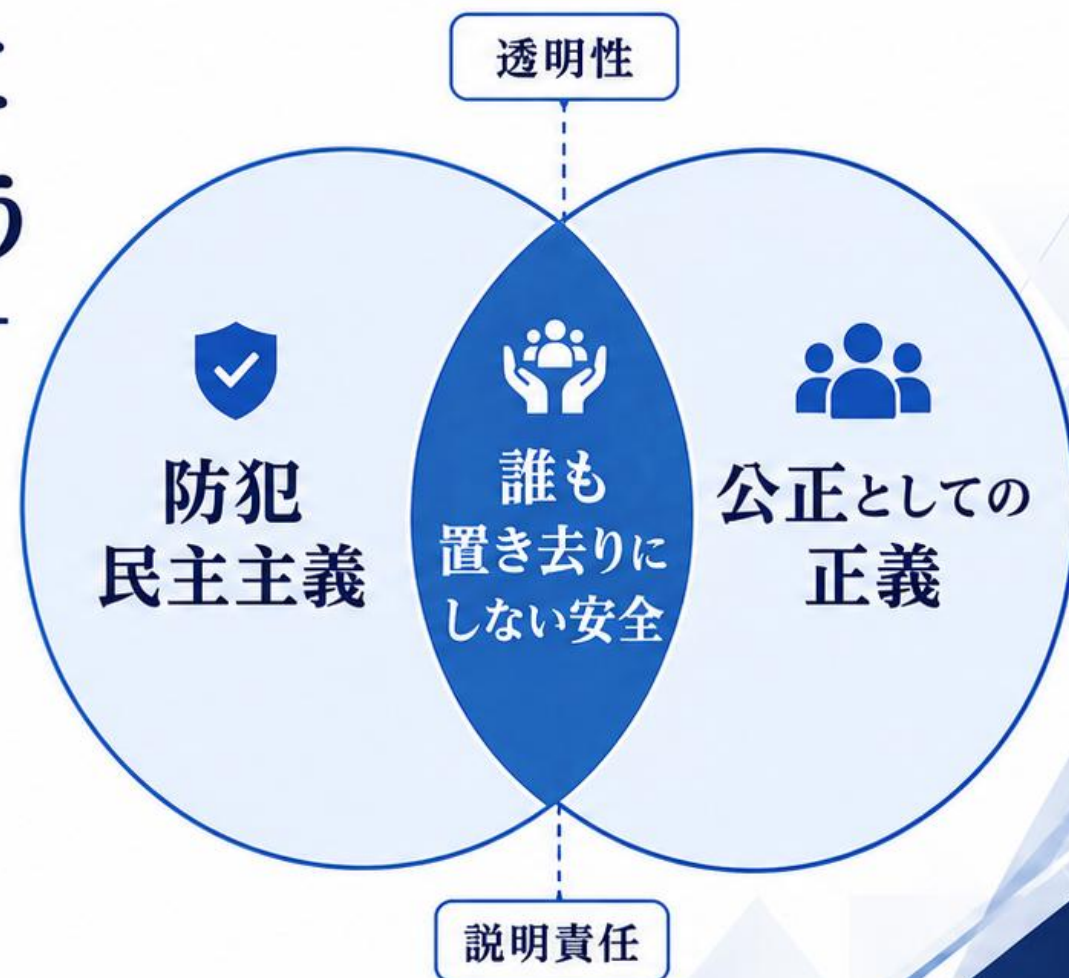
不利な立場の人を  
置き去りにしない

# 両者は『誰も置き去りにしない安全』で重なり合う

防犯民主主義と公正としての正義は、次の点で重なり合う。

- ✓ 安全だけでなく、自由も守る
- ✓ 効果だけでなく、手続きの公正さも重視する
- ✓ 技術の利便性だけでなく、不利益を受ける人にも配慮する
- ✓ 透明性と説明責任によって、社会的信頼を支える

重なるの中心は、  
『誰も置き去りにしない安全』である。



# JEASは、防犯技術の社会的信頼を支える業界団体である

JEASの役割は、防犯技術を広げることだけではない。  
適正利用、透明性、説明責任、個人情報保護を通じて、  
防犯技術が社会から信頼される条件を整えることにある。  
JEASは、会員企業・小売業・行政・生活者をつなぐ立場にある。



# 理念を意思決定に 接続するリーダーシップ

本資料では、稲本義範氏を、JEAS会長として  
防犯民主主義を業界の意思決定に接続する  
リーダーシップとして位置づける。

重要なのは、個人の思想として語ることではない。

防犯技術、個人情報保護、  
業界の社会的信頼をつなぐ役割として整理する。



# 防犯民主主義を、今後の意思決定原則へ

JEASの今後の意思決定では、次の問いを確認する。

- ① 社会の安全に資するか
- ② 自由・権利を過度に制約しないか
- ③ 利用目的と管理方法を説明できるか
- ④ 情報利用は必要最小限か
- ⑤ 誤認・不利益への対応余地があるか
- ⑥ 現場と会員企業が適正に運用できるか

防犯民主主義とは、  
防犯を社会から信頼される形で実現するための言葉である。

# 参考資料・出典

本資料の作成にあたり参照した主な資料・出典は以下の通りです。



## JEAS関連資料

工業会日本万引防止システム協会 (JEAS) の理念・活動・ガイドライン、各種ホワイトペーパー、提言資料等



## 防犯民主主義に関する資料

防犯民主主義の概念、JEAS意思決定原則に関する解説資料、研究論文、関連事例等



## 会員企業による利用事例

会員企業がJEAS意思決定原則を実践した製品・サービスの導入事例、運用事例、成果報告等



## ロールズ『公正としての正義』に関する基本資料

ジョン・ロールズ著「公正としての正義」(原著・日本語訳)、解説書、関連論文、研究資料等



## 個人情報保護・防犯技術の適正利用に関する関連資料

個人情報保護法等の関連法令・ガイドライン、プライバシー影響評価 (PIA) 資料、技術倫理に関する指針・レポート等